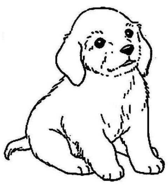
～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

対面リーディング通信

2019年2月1日 発行　　第１８６号（隔月刊）

～～



2019年 2月

基礎講習会のお知らせ

今年度の第２回目の基礎講習会を、以下の通り開催します。
これから活動を始めたいと思っている方はもちろん、すでに活動中で、活動の中でお困りのことがある方、「対面の基本」をもう一度確認されたい方も、ぜひ一度ご受講ください。
また、対面リーディングに関心のある方がありましたらお伝え下さい。

日時　３月14日（木）　13時～17時
（全1回）

場所　情報文化センター本館４階会議室

対象　これから対面の活動をご希望の方。
または、興味のある方。

講師　当館職員ほか

定員　10人

受講料　無料

内容　視覚障害者の理解、対面のサービス内容とルール、利用者との対応の仕方などをロールプレイやＱ＆Ａでわかりやすく学びます。
（「読み方」など技術的な講習ではありません）

申込　3月9日（土）までにサービス部
対面担当　伊藤・福田
（電話06-6136-7704）まで。

今月号の主な内容

基礎講習会のお知らせ			1
対面リーディングと私	対面リーディングと私	山内　紀代子	2
情報発信	「JSDA日本サービスドッグ協会」のご紹介	岡本　昇	3
誌上勉強会	のどのケア	木村　謹治	4
図書紹介	『目の見えない人は世界をどう見ているのか』	澤井　稔	7
寄り道・回り道	炊い処　ぽんたん	木村　謹治	8
情報発信	日本語早わかり　おもしろクイズ（その２）	望月　明	9
お知らせ			１２

対面リーディングと私

対面リーディングボランティア　山内（やまうち）　紀代子（きよこ）

日本ライトハウスさんとのご縁は、地域の音訳講習会を受けた際、地域の広報誌を読ませて頂くには、余りにも私の音訳が未熟であったため、日本ライトハウスの録音図書基礎講習会を受け、研鑽を積んでまた戻って来て下さいとの指示を受けまして、2年間勉強させて頂きました。

それで終了の際、担当の先生から対面リーディングも出来ることをお聞きしました。

私のいとこが視覚障害者で色々とお世話になっていますので、私も少しでもお役に立てばと、対面リーディングボランティア活動を始めるきっかけとなりました。

活動を始めるに当たって、基礎講習会でベテランのAさんからご指導を頂きました。

2時間の長い時間に、どのように新聞とか小説、エッセイを読んだら良いかとか、声がかすれて喉を痛めることもあるので腹式呼吸をして下さいねとか、また滑舌の仕方なども教えて下さいました。

例えば、新聞を読む時に、見出しがあります、一番大きな見出し、中見出し、次の見出し、それぞれの記事がありますが、何か気になるところは？読むに当たって相手の希望を尋ねること。

エッセイや小説などではストーリーがあって、文章が2頁あります。あとに戻りますとか、また目次を読みます、どんなことが書いてあるのかを伝えるなど…、具体的な読み方を色々教えて頂きました。

今、実際に活動させて頂いて、Ａさんのアドバイスは本当に的確で、ずっと心に残っています。

新聞記事とか小説、エッセイを読ませて頂いていますが、内容によっては読み進んでいくうち、お互いに共感して涙がこぼれたこともありました。

利用者さんの中には、録音しながら途中で寝てしまう方もおられます。私の場合、私の読みが下手なのかもと、自信がなくなる時もありますが、帰り際にはありがとうと言って頂くと、何とも言えない充実感に包まれ、月に一回ですが、また活動させて頂きたいという気持になります。

【職員より】

録音図書の読み方、対面リーディングでの読み方、共通でありながらそれぞれ独自の技術が必要とされて大変かと存じますが、最初の講義でのアドバイスをしっかり心に留めてご活躍いただいているご様子で何よりです。利用者さんと互いに共感しあう瞬間も対面の醍醐味かもしれませんね。今後も引き続きご活躍いただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「JSDA 日本サービスドッグ協会」のご紹介

サービス部　岡本（おかもと） 昇（のぼる）

みなさんは、「特定非営利活動法人　日本サービスドッグ協会」という団体をご存じでしょうか。この団体では、現役を引退した「身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）」にかかる以下のような支援事業を行っています。

- 補助犬を引退させようとしている、または引退させた補助犬使用者の精神的なケア及び、現役補助犬の病気や事故等、緊急かつ早急に代替犬が必要になった場合の支援。
- 引退した補助犬の介護ボランティア（引退犬ボランティア）の充実及び、そのサポート。
- 引退補助犬に掛かる医療費・介護費等の支援。
- 高齢・障害等で歩行困難になった補助犬の介護器具・用品の開発及び普及。
- その他、これら各種事業支援のための基金調達、社会啓蒙活動。

（以上、協会ウエブページより抜粋）

身体障害者補助犬の育成については、自治体や企業がスポンサーとなり、その費用が補助されています。しかし、引退した補助犬については、そういった補助事業はありません。

引退した補助犬は「引退犬ボランティア」の家庭に引き取られて余生を過ごすことがほとんどです。そこで発生する食費や医療費、介護にかかる費用などは、引退犬ボランティアの負担になっています。

そうした負担を少しでも減らし、引退した補助犬が幸せな余生を過ごし、また、補助犬ユーザーがパートナーを安心して引退犬ボランティアに預けられるよう、同協会が発足しました。このような活動を行う団体は、国内に一つしかありません。

私の１頭目の盲導犬「ヴィオラ」は15歳になりますが、引退犬ボランティアのご家庭で幸せに暮らしています。同協会から、医療費などを援助していただいています。同団体の活動が、さらに充実することを願っています。

特定非営利活動法人日本サービスドッグ協会
〒639-2121　奈良県葛城市新村210
TEL＆FAX 0745-62-3605

日本サービスドッグ協会のホームページ
http://www.servicedog.or.jp/

木村（きむら） 謹治（きんじ）

対面リーディングの実際 31

― のどのケア ―

これからは空気が乾燥していく時季です。乾燥は肌の大敵ですが、のどにもダメージを与えます。

特に声を使う俳優や声優、歌手は声のケアには並々ならぬ努力をされているみたいです。

ある日、某有名俳優が美声を保つためにナメクジを生のままで飲み込んだとテレビで放送されていました。その方法は先輩から教わったそうです。

僕もナメクジの話は聞いたことはあります。声がよくなるという民間伝承ですね。某俳優には確かに効き目があったそうです。

おばあちゃんの知恵袋は合っていることもあれば間違っていることもあります。でも、ナメクジだけは飲み込んだりしないでください。

ＣＮＮニュースによると、オーストラリアのシドニーで、仲間たちと酒を飲んでいる最中にふざけてナメクジを食べた男性が、寄生虫に感染して１年以上も昏睡状態に陥り、全身が麻痺して死亡したとのことです。医師はこの症状について、ナメクジに寄生していた広東住血線虫（かんとんじゅうけつせんちゅう）が原因だと診断しました。大抵の場合は軽度な症状で済み、重症化することは少ないそうですが。

ナメクジを飲むような危険を冒すことをしなくても、日本にはお茶があります。緑茶や紅茶は、手軽に用意でき、喉にも良い飲み物です。お茶には殺菌作用があるカテキンが含まれているので、喉を消毒してくれます。一手間かかりますが、ペットボトル製品ではなく、出来ることなら生の茶葉を使用してお茶をつくる事をお勧めします。より濃密で多量のカテキンを摂取できるはずです。

ただし、お茶はお茶でもウーロン茶に含まれているカテキンは、紅茶や緑茶よりも少量（およそ1/2～1/3と言われている）で、そのうえ喉の脂分を洗い流し、粘膜にダメージを与えてしまいます。従って効果を期待する場合は緑茶や紅茶がお勧めです。

そのほかに抗酸化作用や抗ウイルス作用、抗ガン作用、コレステロールを下げる作用、血糖の上昇を抑える作用も兼ね備えていて健康に良さそうですね。

冬に温かい飲み物を飲むとホッと（駄洒落じゃありません）します。

お茶はちょっとと思われる方には、ホットレモネードはいかがでしょうか？　ビタミンCが豊富で、殺菌作用もあり、喉を保温してくれます。これに蜂蜜やショウガを加えれば、殺菌作用がさらに強化されますので完璧です！　体も温めてくれますから、風邪の際にも積極的に取りたい飲み物です。

ちなみにアメリカの家庭では、レモネードは暮らしに根付いた飲み物であり、日本で来客時にお茶を出すような感覚でレモネードが出されるそうです。

作り方は家庭によって違います。一例をあげると、

材料（500～700mlの保存容器1個分）

レモン	4個
砂糖	120g
蜂蜜	大さじ4～5

作り方

①レモンはよく洗って水気を取り、薄くスライスする。

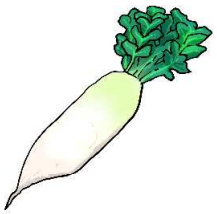
②用意した保存瓶に、スライスしたレモンの1/3量を詰める。その上に砂糖の1/3量、蜂蜜大さじ1を垂らす。この工程を後2回繰り返し、最後に残りの蜂蜜を垂らしてそのまま少し置く。
③砂糖が溶けて、レモン果汁が出てきたら蓋をして、瓶をグルグル回す。
④そのまま、涼しい場所に常温で置き、何回か瓶をグルグル回して、出てきた果汁を全体にかける様にする。瓶の半分位の果汁が出てきたら、冷蔵庫に入れて一晩保存する。砂糖が溶けて、レモンスライスがひたひたに浸る位に果汁が出てきたらシロップの完成。水や炭酸水、お湯で割って飲む。

先ほどふれた蜂蜜には殺菌作用があります。蜂蜜をなめるだけでも十分に効果的で、パンに塗って食べたり、ホットケーキと一緒に食べたり、おいしく食べる工夫をしてみましょう。ちなみに、蜂蜜は肉料理にも使えます。

蜂蜜は、その成分の約80パーセントが糖分で、しかもそのほとんどがブドウ糖と果糖です。ブドウ糖と果糖は、高い浸透性が特長です。この浸透性という特長を料理に生かしたものが、蜂蜜を肉料理に使うという方法です。

肉料理の味付けに蜂蜜を用いると、肉が柔らかく、ジューシーに仕上がるのは、蜂蜜が肉の組織内に浸透し、肉の収縮を抑える働きをするからです。また、蜂蜜の糖分がカラメル化し、肉の表面をすばやく焼き固める作用があります。そのために肉汁が逃げ出さずにジューシーに仕上がるのです。

料理が得意な人は、ぜひ挑戦してみてください！



大根も炎症を抑える作用があります。しかも安価に手に入りますから、日常的に摂取しましょう。わざわざ凝った料理を作らなくても、大根下ろしを食べるだけでも効果があります。また、ブロック状（あめ玉サイズ）に切り、蜂蜜漬けにすれば効果は倍増、しかもおいしく食べられますよ。

声の大敵は喉の乾燥です。特に冬場は空気が乾燥し、喉の湿度が保てていないことで喉を痛めます。

暖房することにより、更に乾燥を促進してしまいます。加湿器を設置すればいいのですが、無ければペットボトルに水を入れて蓋を開けた状態で部屋の四隅に置いておくだけでも効果があります。

また、外出時にはマスクをするのも効果的です。乾燥した空気や排気ガス、外部の菌から喉を守る効果がある他、自分で吐いた湿気でマスク内の湿度を維持できます。

マスクの効能は寝る時にも発揮されます。口呼吸で朝になると口がカラカラになってしまう人は是非試してください。意外と効果があります。マスクは乾燥だけではなく細菌などからも喉を守ることができます。少し高いですが、濡れマスクなどもオススメです。

寝ている間に唾の菌は増殖しているので、寝起きのタイミングで唾を飲む行為をしてしまうと、雑菌が喉を通過し良くありません。起きたら口をゆすいだ方が良いですね。

僕はマスクをすると耳が痛くなってしまう質（たち）なので苦手だったのですが、最近は痛くならない対策をされたマスクも発売されているようです。

発声前や発声中はしっかりと水分を取り、喉を潤すようにしましょう。オススメは、身体への吸収が早いスポーツドリンクです。また、飲み物は冷たいものより常温のものが良いとも言われています。

冬は風邪の季節でもあります。風邪を引いた場合には鼻をかんだり、点鼻薬などを活用して鼻通りを良くし、口呼吸を減らす事も大切です。口から直接空気を吸うことを避けることにより乾燥を防ぎます。

咳は喉（特に声帯）に負担をかけてしまいます。とはいえ咳は生理現象なので絶対にしないというのは無理な話です。また、咳は異物を取り出すために必要なものでもあるので、我慢するとかえって良くない場合もあります。あくまでも出来るだけしないに越したことはありませんよ、という程度に捉えて下さい。

ひどい場合は病院で薬をもらうなど、咳を極力しないようにしましょう。

風邪を引いてしまったかな？ 喉の調子が良くないな･･･と感じたら、ぬるま湯に塩を溶かした食塩水でうがいをすると効果的です。うがいをする時は喉の奥まで食塩水が届くように、上を向いて舌を上に突き出すようにしてしっかりとうがいしましょう。うがいは風邪の予防にもなりますので、普段から徹底するように心掛けると良いでしょう。

うがい薬を使うと効果的ですが、健康な時は必要な菌まで殺菌されてしまいます。水かぬるま湯で行いましょう。

徐々にたばこを吸う方は減ってきましたが、たばこは声にも影響を及ぼします。

たばこを吸うということは煙を吸っていると同じ状態です。すると声帯が乾燥して声がかすれて来ることがあります。たばこをゆっくり吸えばあまり影響ないという人もおられますが、個人差はあるものの、たばこは声に影響を及ぼすものですので、声を出す仕事をされる方は、可能であればなるべく控えるに越したことはありません。

最後に１番難しいことは、ストレスを避けることです。

ストレスや睡眠不足が原因で喉に痛みが出ることもあります。詳しいメカニズムは判明していないようですが、自律神経が乱れることによって、喉に刺すような痛みが生じることがあるといいます。

ストレスや睡眠不足、食生活の乱れなどで免疫力が下がり、喉の粘膜がウイルスや細菌に感染しやすくなるためです。

免疫力を下げないためには、規則正しい食生活を送り、きちんと休息をとることが大切です。また、細菌を洗い流しながら喉をうるおすことができる『うがい』も、予防法としてはオススメです。

現代人はストレスを避けることは難しいです。好きな音楽を聴くなり、ぬるめの湯にゆったりと浸かる、友達とのお喋りに興じるなど、それぞれの方にあった方法で解消するしかありません。

以上まとめてみますと、

◆手洗い、うがいを敢行する

外出先から帰った時は、手洗い・うがい、食事の前にも手洗いを！　レストラン等でお手拭きだけで済ませてしまうこともあると思いますが、特に直接食べ物に触れる場合は、食べ物からの菌が喉へと接触してしまいますので、喉のケアの為には、なるべく手洗いをしてから食事を行うようにしましょう。

◆喉の乾燥を極力避ける

部屋に加湿器を置くなど、乾燥を避けます。また、マスクも効果があります。

◆できるだけ咳をしない

のど飴を舐めるなど、症状にあった手当てをして、できるだけ咳をしないように心がけましょう。咳は喉（特に声帯）に負担をかけてしまいます。

◆大声は避け、喉を休める時間を作る

大声を張り上げるような、喉に負担のかかる発声は避けましょう。声を長時間出し続けることは喉にとって良いことではありません。声帯には休息が必要です。少しでも良いので声を出さない時間を作ることを心掛けましょう。

◆睡眠はしっかり取る

日本人は睡眠時間が短いと指摘されています。個人差もあり、睡眠の質も関係してきますが、７～８時間の睡眠が健康にも良いとされています。

◆ストレスをためない

これが１番難しいです。各自でいい対処法を見つけるしかありませんね。

冬は乾燥の季節です。乾燥から喉を守り、元気に冬を乗り切りましょう。

図書紹介

『目の見えない人は世界をどう見ているのか』
伊藤 亜紗（いとう あさ） 著

対面リーディング・ボランティア　**澤井（さわい） 稔（みのる）**

最近興味深く読んだ本を紹介します。

基礎講習を経て対面リーディングの機会を貰ってから、五年程になりますが、相変わらず発音不明瞭、滑舌の悪さはピカイチと自虐ネタで苦笑いしながら活動しています。その間、とにかく気にする事と言えば、明瞭・明確な発音・発声とイントネーションの事ばかりでガチガチでした。

そんな時、幾つかの転機と出会いが有り、少しずつ気持がほぐれていきました。中でも、週刊新潮の録音の際に、先輩モニターさんに褒めて頂いた事が大きな安心感を私に与えてくれました。振り返って見ればその頃まで、対面朗読の際にもその他の音読の現場でも自分の事ばかりに気が行って、話し相手や聞き手の存在に余裕を持って気を配る事が全く出来ていませんでした。そんな試行錯誤の中でこの本に出会いました。

著者の伊藤亜紗さんは、多彩な経歴の持ち主らしく、最初は生物学者を目指しながら、文学で博士号を取得し、美学が専門で、アートにも取り組む、面白い研究者とお見受けしました。その彼女が、視覚障害者の方々との何気ないおしゃべりから、共に行ったワークショップや様々な交流を通して、晴眼者である自分との関係性に光を当てて、読み解いて行く試行の数々がこの本には詰まっています。

内容を少し見ていきますと、「序章　見えない世界を見る方法」は、晴眼者が当たり前として織り込んでいる事から離れて、見えない事が何処まで実感出来るのかを探り、視覚障害者にとって見えない事とは何かを、当事者自身の声の中から少しでも知る糸口を探す道です。以下、

「第1章　空間ー見える人は二次元、見えない人は三次元？」
「第2章　感覚ー読む手、眺める耳」
「第3章　運動ー見えない人の体の使い方」
「第4章　言葉ー他人の目で見る」
「第5章　ユーモアー生き抜くための武器」

と続きます。いずれも話が具体的で中身が簡単に頭に浮かぶ内容となっています。上手くお伝え出来ませんが、今までの本とは少し目指す方向が違うと言うか、さらに大きな理解と認識を目指す様な新鮮な一冊です。是非ご一読下さい。

先日、機会を頂いて「ヘレンケラー女史没後五十年を偲んで」の会に参加しました。長年強い信念と意志で視覚障害者の方々の為に努力をされてきた先人達の苦労の一端を知る貴重な時間となりました。又、時代の変遷に寄り添うように変わらぬ思いを持ち続けるためには、色々な工夫も重ねてこられた事も知りました。そういう意味で異色の本ですが、お薦めします。私自身も肩の力を抜いて今後の活動を続ける為にも、この本に盛り込まれた人・物・風景の見方、見え方を生かしたいと思います。

『目の見えない人は世界をどう見ているのか』
伊藤亜紗（著）　光文社新書　2015年

レポーター：木村（きむら） 謹治（きんじ）

炊（た）い処（とこ） ぽんたん

【所在地】　大阪市西区江戸堀1-15-5 日宝ニュー肥後橋ビル 2F
【電話番号】　06-6485-8538
【行き方】　大阪メトロ四つ橋線 肥後橋駅９、10番口より徒歩3分
【営業時間】　ランチ：11:30～14:00 LO14:00／ディナー：17:00～24:45
【定休日】　毎週日曜日／祝日　土曜日はランチはありません
【URL】　https://www.facebook.com/taitoko.pontan/

情文から歩いて３、４分、肥後橋商店街の手前にあります。ビルの2階で一瞬分かりにくいですが、１階入口に木の立看板が立て掛けてあり、それで確認できます。

串カツ居酒屋火菜屋の左側階段を上がった所で、古い雑居ビルですが、内装は木材を多く使ってすっきりシンプルな店内です。

ランチメニューは
◆季節のランチ 950円
◆Ａランチ備中高原どりのからあげ 800円
◆Ｂランチ黒毛和牛ローストビーフ 950円
◆Ｃランチ季節の焼き魚 800円
の４種類あり、ごはん、味噌汁のおかわりは自由です。

今回頼んだのは、Ａランチ備中高原どりのからあげ 800円です。最初にサラダの小鉢が出てきました。僕好みの少し酸っぱめのドレッシングが、かかっています。

程なくしてメインの鶏の唐揚げ、小鉢、煮物、漬物、ご飯、味噌汁が運ばれてきました。

唐揚げは、もみタレに漬け込み、あっさりとした塩味に仕上げてあります。レモンが添えられていますが、好みによって横の小鉢の甘い天つゆみたいなタレをつけて食べることが出来ます。が、そのタレにつけずにいただく方が好きです。

副菜の１つは白菜の煮物で、とろとろに煮込まれていて、胡麻風味がしました。もう１つの小鉢はささみ、昆布の煮物とプチトマトです。

プチトマトは食べ慣れているので、一気に口に入れて驚いたことに、湯むきがしてあり、少し酸っぱめの味とトマトの甘みが微妙に絡まり「おぉ」と驚いてしまいました。もっと味わって食べたらよかったと、、、残念です。

ベーシックな定食のように見えますが、副菜も味噌汁も、丁寧な調理がされており、どれをとっても美味しい味付けでした。

居酒屋料理とは思えないやさしい味付けに感心しました。

そして何よりご飯が美味しいです。

この店の看板に「酒と料理と土鍋ごはん」と書いてある通り、夜はお酒と土鍋の炊き込みご飯が楽しめるお店です。

米は奈良県高取町産のものを土鍋で炊いているそうです。見た目もツヤツヤしていて、１粒１粒がみずみずしく、甘くのどごしの良いご飯に炊き上がります。

さすが「炊い処」というだけあります。

『日本語早わかり　おもしろクイズ』(その2)

対面リーディング・ボランティア　望月（もちづき）　明（あきら）

以下の内容は、2018年12月号に掲載しました、日本語表現研究会著『間違って覚えていると恥をかく！日本語早わかり　おもしろクイズ』からの抜粋・要約した記事の続き（その2）です。

■四文字熟語の虫食い問題

〇の箇所に漢字を入れて下さい。

1、〇体〇体
「強い疑問の気持ちを表わす言葉」
2、〇心〇心
「言葉によらず、お互いの気持ちが通じ合うこと」
3、〇目〇目
「関係のない人が見ると、善し悪しがよく分かること」
4、全〇全〇
「完全無欠の知恵と才能」
5、全〇全〇
「身も心も全部」

＜答え＞
1 一体全体、2 以心伝心
3 傍目(おかめ)八目
4 全知全能、5 全身全霊

6、半〇半〇
「死ぬか生きるかの境目にいること」
7、半〇半〇
「本当には信じきれないこと」
8、不〇不〇
「二つのものが、つきも離れもしない関係にあること」
9、不〇不〇
「どちらにも味方しないこと」
10、無〇無〇
「一切の想念を離れること」

＜答え＞
6 半死半生、7 半信半疑
8 不即不離、9 不偏不党
10 無想無念・無念無想

11、無〇無〇
「無法に強制すること」
12、多〇多〇
「物事の種類やあり方が様々であること」
13、多〇多〇
「物事に感じやすく、恨み・悲しみも多い様子」
14、右〇左〇
「秩序なく、あちらへ行ったり、こちらへ行ったりすること」
15、右〇左〇
「周囲の様子を窺ってばかりいて、決断をためらうこと」

＜答え＞
11 無理無体、12 多種多様
13 多情多恨、14 右往左往
15 右顧左眄(うこさべん)

16、東〇西〇
「ある仕事・目的のために、あちこちを忙しく駆け巡ること」
17、上〇下〇
「上の人の考えを、下の者に良く伝えること」
18、大〇小〇
「細かいところは違うが、大体は同じであること」
19、天〇地〇
「天空と地上に起こる異変」

20、〇天〇地
「世間を大いに驚かせること」
＜答え＞
16 東奔西走、17 上意下達
18 大同小異、19 天変地異
20 驚天動地

■よく見かける言葉、一体どっちの漢字が正しい？

1、さいこうちょう
「最高**潮**」　「最高**調**」
2、てらこや
「寺**小**屋」　「寺**子**屋」
3、いきようよう
「意気**揚々**」　「意気**洋々**」
4、いっしんどうたい
「**一心**同体」　「**一身**同体」
5、おかしらつき
「**尾頭**付き」　「**御頭**付き」
＜答え＞
1「最高**潮**」、2「寺**子**屋」
3「意気**揚々**」、4「**一心**同体」
5「**尾頭**付き」

6、がりょうてんせい
「画竜点**晴**」　「画竜点**睛**」
7、かんぜんちょうあく
「**完全**懲悪」　「**勧善**懲悪」
8、きせいじじつ
「**既製**事実」　「**既成**事実」
9、きゅうやくせいしょ
「**旧約**聖書」　「**旧訳**聖書」
10、けっせんとうひょう
「決**戦**投票」　「決**選**投票」
＜答え＞
6、「画竜点**睛**」。「**晴**」ではなく「**睛**」。「**睛**」は黒目、瞳のこと。
7、「**勧善**懲悪」。善い行いを勧め、悪い行いを懲らしめる。
8、「**既成**事実」が正しい。すでに起こってしまっていて、広く承認されている事実のこと。「**既製**」は前もって作ってあること。「既成」はすでに成り立っていること。
9、「**旧約**聖書」が正しい。キリスト教の聖典の一つで、救世主キリストの出現を預言している。「約」は神との契約を意味している。
10、「決**選**投票」が正しい。一回の投票で当選者が決まらない時、多くの票を得た二人について、もう一度行なう投票のこと。

11、こうがんむち
「厚顔**無知**」　「厚顔**無恥**」
12、こべつほうもん
「**戸別**訪問」　「**個別**訪問」
13、じょせいがっしょう
「**女性**合唱」　「**女声**合唱」
14、ふわらいどう
「**付和**雷同」　「**不和**雷同」
＜答え＞
11、「厚顔**無恥**」が正しい。厚かましく恥知らずなこと。
12、「**戸別**訪問」が正しい。「戸」は家を表す。
13、ソプラノ、アルトなどを「女声」といい、女声のみの合唱は「**女声**合唱」となる。テノール、バスなどは「男声」、その合唱は「男声合唱」。
14、「**付和**雷同」が正しい。自分に考えがなく、やたらに人の説に従うこと。「付和」は、訳もなく他の説に賛成すること。「雷同」は自分に定見がなくて、みだりに他の説に同意すること。

■正しい読み方はどっち？

1、「悪食」
「あく**しょく**」　「あく**じき**」
2、「雄々しい」
「**おお**しい」　「**ゆうゆう**しい」
3、「開眼」
「かい**がん**」　「かい**げん**」
4、「確執」
「かく**しつ**」　「かく**しゅう**」
5、「奇しくも」
「**き**しくも」　「**く**しくも」

＜答え＞

1、「あくじき」と読む。常識では食べないような変わったものを食べることを言い、如何物食い(いかものぐい)とも言う。

2、「おおしい」と読む。「雄弁」「英雄」などと同様に、「ゆう」と音読みしたくなるが、反対語の「女々しい（めめしい)」と同じく、訓で読む。

3、「開眼供養」のように、仏像に魂を入れたり、又は芸道などで悟りを開くことをいう場合には「かいげん」と読む。「開眼手術」のように、目が見えるようにするという意味の場合には「かいがん」。

4、「かくしつ」と読む。人と人との間の揉め事のこと。「執着（しゅうちゃく)」「執心（しゅうしん)」など「しゅう」と読む語の連想からか「かくしゅう」と読み間違うことが多い。(「かくしゅう」を認める辞書もある。)

5、「くしくも」と読む。不思議にもという意味。「くし」は訓読みで、不思議を意味する古語の形容詞。

6、「強力粉」
「きょう**りょくこ**」　「きょう**りきこ**」

7、「入水」
「**にゅう**すい」　「**じゅ**すい」

8、「手向ける」
「**て**むける」　「**た**むける」

9、「祝詞」
「しゅく**じ**」　「しゅく**し**」

10、「非業」
「ひ**ごう**」　「ひ**ぎょう**」

＜答え＞

6、「きょうりきこ」と読む。パンなどに適する粘り気の強い小麦粉のこと。てんぷらに使うのは「薄力粉（はくりきこ)」。

7、「じゅすい」と読む。水中に身を投げて自殺することを表わす言葉。水に入る「にゅうすい」の読みも。

8、「たむける」と読む。神や仏に供え物をしたり、旅立つ人に餞別を贈るという意味。

9、祝いの言葉という意味では、「しゅくし」と読む。神に祈る言葉という意味では「のりと」と読む。

10、「ひごう」と読む。「業」は良くないことをした報いという意味。「非業の死」は「業」によらない「死」、すなわち、思いがけない災難で死ぬこと。

11、「旗幟」
「き**しょく**」　「き**し**」

12、「異にする」
「**い**にする」　「**こと**にする」

13、「出生」
「しゅっ**せい**」　「しゅっ**しょう**」

14、「順風満帆」
「じゅんぷう**まんぽ**」　「じゅんぷう**まんぱん**」

15、「上意下達」
「じょうい**かたつ**」　「じょうい**げだつ**」

＜答え＞

11、「きし」と読む。ある物事に対するその人の態度、主張のこと。

12、「ことにする」と読む。違っている、区別するという意味。「こと」は訓読み。「異を唱える」は「い」と音読みする。

13、「出生届」のような法律上の言葉としては「しゅっしょう」と読むが、「しゅっせい」の読みも慣用的に使われており、間違いとは言い切れない。

14、「じゅんぷうまんぱん」と読む。「帆」は、音読みが「はん」、訓読みが「ほ」。

15、「じょういかたつ」と読む。上の人の考えを下の者に良く伝えること。「下」には漢音の「か」と、呉音の「げ」があり、ここでは「か」と読む。

16、「小冊子」
「しょう**ざっし**」　「しょう**さっし**」

17、「言語道断」
「**げんご**どうだん」「**ごんご**どうだん」

18、「荘厳」
「そう**げん**」「そう**ごん**」

19、「総帥」
「そう**すい**」　「そう**し**」

20、「総花」
「そう**ばな**」　「そう**か**」

＜答え＞

16、**「しょうさっし」**と読む。薄い書物のこと。「冊」は、ヒモで結んだ札の形を表わしたもので、「さく」と読み「文書」という意味。「さつ」は慣用音。

17、**「ごんごどうだん」**と読む。もとは、仏教の真理は言葉で説明することが出来ないことを表わす語だったが、今は、とんでもないこと、もっての外のことの意味で用いられる。

18、**「そうごん」**と読む。重々しくて立派な様子。「厳」は漢音で「げん」、呉音で「ごん」。「厳禁」「厳正」「威厳」など多くの熟語は「げん」と読むが、「荘厳」と「華厳」は「ごん」と読む。

19、**「そうすい」**と読む。全軍を指揮統率する最高指揮官。「帥」は軍の将軍、一群を率いる‘かしら’を表わす。「師」と似ているので、間違って読まれることが多い。

20、**「そうばな」**と読む。もとは、茶屋などで客が店の一同に出す祝儀のことをいい、そこから、すべての関係者に利益・恩恵を与える意味で使われる。

（その３へ続きます）

おしらせ

・ボランティア交流会のおしらせ

３月６日(水)はボランティア交流会のため、対面リーディングはお休みとなります。今年の交流会は、盲導犬をパートナーとして活躍中の上方落語家、桂 文太さんをゲストに、本格的な落語をご堪能いただきます。また、今回は特に多数のボランティアの皆様に活動歴20年・30年、そして特別表彰の感謝状贈呈を行います。その他、友の会総会、美味しいお弁当を囲んでの歓談、お買い得品満載のバザーなど盛り沢山な内容です。詳しくは「ONE BOOK ONE LIFE」2019年１月号をご参照ください。参加のお申し込みは２月末までに対面担当または３階総務係までお願いいたします。

・3月30日はサービスフロアの棚卸しを行います

３月30日（土）は5階サービスフロアの棚卸しを行います。5階フロアは休室となりますので、それに伴い対面リーディングもお休みとさせていただきます。

今年はインフルエンザが猛威を振るっていますね。十分に対策をして元気に冬を乗り切りたいものです。遅ればせながら、本年もどうぞよろしくお願いいたします。（F）

日本ライトハウス 情報文化センター
550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2
06-6136-7704（対面専用）
06-6441-0039（サービス部）